

観自在

弘長寺寺報
第5号
平成一五年
一月

弘長寺住職

交代致します

《教化主事拝命》

弘長寺副住職 森田裕光

す。おめでとうございま
平成十五年の幕が開
けました。

方丈様は病に伏され
て二年半になります
今年のお正月もお交
わりなくお寺で迎
えられました。

限り私としてはお元
たのげがもらい住職
方気が楽とい、う面
あり島根第二宗務所
（島根県第二宗務所
あり島根第二宗務所
は西主事を見九ヶ寺
教化大東・弘安寺様

曹洞宗宗議会議員とし
て全国の場へお出かけし
に、なり、その教化主事
後継者として、図らずも
私の白羽の矢が当たった
たのです。

布教教化の先頭に立
たな、け、ばならぬ重
要な、つ、多、なる、あ
り、す、の、お、断、り、を、し、た
と、何、度、も、所、々、の、来、山
の、役、職、の、方、々、の、来、山
を、得、に、職、と、う、と、う、非
を、顧、み、ず、引、き、受、け、て、し
ま、い、ま、し、た。

「所内では重職なので、
副住職のままでは困る」
という、こと、で、住職に
なら、ざる、を得、なく、な
り、た、だ、今、住職、申請、中、で、あ
ります。

就任して二カ月過ぎ

ま、忙、し、さ、に、驚、い、て、い、ま、り
の、し、か、し、お、受、け、し、た、か
す、に、は、か、し、お、受、け、し、た、か
いら、と、存、じ、ま、す、の、お、か、け
る、い、こ、も、迷、ろ、う、か、か、と、け
する、も、い、ま、す、が、檀、家、皆、う、か
お、も、の、理、解、と、願、い、申、し、上
仏、法、の、ご、願、い、申、し、上
方、の、ご、理、解、と、願、い、申、し、上
げ、ま、す。

方丈様の退董式（住職
退任式）を八月七日
（施食会）に、又、私
晋山式（住職就任式）
を十月十九日（日）に
申し上げます。

合掌



手を合わせる

坂村真民

めぐりあいのふしぎに
てをあわせよう

そうだ

手を合わせたら

自分が変わる

相手が変わる

家族が変わる

憎む者さえ変わってくる

わたしは毎日

五臓六腑様 今日も

よろしくお頼みしますと

手を合わせる

病気しないのも

そのためだろう

世界中の人がみんな

手を合わせあつたら

争いもなくなつて

ゆくだろう

謹賀新年 幸せな未来を 今 忍耐の行で 築きましょう

弘長寺護持会
会長 土江嘉久

平成十五年。私たち人生の道は開かれましうた。今年は何のようか。歩むことなることなら迷いや苦しみない平穩無事で幸せな道を歩みたいと念願するところす。

外に出まはし。この近年問題が、景気は落ち、回復もなからず、倒産も増え、借金も目につく。この状況で、身近に抱えながら、新年の人出は立ち場により、程度に差があつても、前途の苦難が、予想されず。

でも、今生きて在る私、わらむと好まざるは、かねばならぬ。道の急歩、平坦な道であらうと急

峻な坂道であらうと、短縮も避け、長も通れせんとせ、生かして歩む限りなり。世に合せて歩む世に、生かされたものが宿命にも言えぬ。苦難の道に歩きたるを得ない運命に付、停止したりと投げ出して、歩み止めはあきらめず、歩む必要とします。耐え難きを忍ばねばなりませぬ。

合掌



お願い

●法要について(再掲載)

▽当山では、翌年のご法事は原則としてお断りしております。ただし、ご事情によって、どうしても当年(今年)のご法事と一緒に修したいという方には、「翌年の当たり年にお塔婆を書く」としてその時にお塔婆を書くという条件付きで承っております。

▽ご法事のお申し込みは前年よりお受けいたしておりますが、お寺の突発的な事情でやむを得ず変更していただかなくてはならないことが生じる場合があります。

その時に、どうしても変更ができない場合は、別の方丈様にご法事をお願いすることもございますので、何とぞご了承下さいますようお願いいたします。

●葬儀について

▽昨年夏より本葬・告別式の内容を変更改しました。町内でも、当山だけが出棺時の受戒儀式を本葬でも繰り返してしました、時間がかりすぎる等の指摘が多数ありましたので(檀家・他寺院共)、他寺院と同じく本葬での受戒儀式(内誦経)を取りやめ、外誦経のみといたします。

▽葬儀の際には筆ペンではなく、必ず大筆・小筆・硯をご用意下さい。墨は墨汁でも結構です。

▽出棺や本葬の時には寄り方皆様のお手伝いが必要な場合がございますので、いつでも祭壇前に行けるよう待機を御願致します。

お知らせ

●位牌堂安置の位牌について

▽先祖代々金塗り位牌申込みは十二月末日時点で、ほとんどの方の購入希望があり、感謝致します。位牌堂に安置する統一位牌の様式は左図の通りですので、ご確認下さい。(現在既に安置してある位牌はそのままで結構です。)
【表：家紋・〇〇家先祖累々諸精霊位、右上に地区・屋号】
【裏：施主名祠堂、右上日付】

弘長寺 森田家先祖累代諸精霊位

平成十五年十一月吉日

森田大聖祠堂

●本堂東室中戸を五枚、ガラス戸に変えました。

▽護持会本堂修繕費で本堂東室の中障子戸をガラス戸に替えて頂きました。

●弘長寺過去帳写真保存致しました。

▽弘長寺過去帳全ページをデジタルでCD-R(百年以上保存保証)に封印写真保存し、本寺である松江洞光寺様と、実家の布部安養寺様に保管していただきました。万が一火災に遭ったとしても、過去帳だけは大丈夫です。

●位牌堂用スピーカー一台
ご喜捨いただきました。

功徳主 大森 吉岡孝一殿
▽本堂の読経が位牌堂にも届くようにと、スピーカー一台をご喜捨頂きました。

恸魔の事を得んと欲せば 急に恸魔の事を務めよ

《発願して修行せよ》

月一回、托鉢を致しておりま
すが、役を受けてから忙しくな
り、なかなか出かけられなくな
ったのが悩みです。

昨年は、鏡・弘長寺・浜東・
浜西・池田・小松・中垣・内ヶ
峠・久戸・大森を回らせていた
だきました。

大切な浄財を頂戴して誠に有
り難うございました。

頂いた浄財は七割を位牌堂基
金へ、残り三割を曹洞宗ポラン
ティアへ寄付いたしております。

道元様は「無為の修行」と仰
います。

自分の為、家族の為、心を磨
く為、悟りを求むる為などつい
目的を持ちたくなりますが、本
来人は仏の種を宿しているのだ
から、仏が修行をするのは当た
り前なのだ。仏になるために修
行するのではなく、仏が仏のす
るべき当然の修行をするのだ、
そう説かれます。

簡単に言えば

「修行は魂を磨く作業であるが、
それを求める為の修行をして
はいけない。ただ、修行の結
果として魂が磨かれるのだ」
だから私にとって托鉢は無為
の修行と心得ます、坐禅と同
じく純粹な修行です。

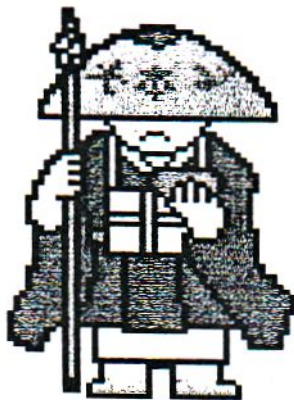
浄財を求める為ではない、た
だ托鉢行為の托鉢です。結果
として浄財を頂くのです。

一年前、雪のちらつく寒い日
にある地区を托鉢しておりまし
た。

あるお宅の案内安全を祈念し
た後、二百メートル程離れた次
のお宅へ行き、終わって階段を
下りた時、先ほどのお宅の腰の
曲がったおばあちゃんやまが道に
ペタンと座り込んでハア、ハア
言いながら盆に浄財を載せて私
を待っていて下さいました。

「気がつくのが遅くなって、大
分大きな声で追いかけてましたに
間にあわなかったですわ。ありや、
お前さんウチの和尚さんかいね。」
私はまぶたが熱くなりました。
結果として忘れられない熱い感
動を頂戴しました。

これからもできるだけ出かけ
たいと思っております。



梅花講

浜東 伊藤令子

御詠歌を始めてもう七年にな
りますけど未だに全く上達しま
せん。

月二回の練習があり、和尚さ
んからお唱えやお話を色々うか
がうのですが、お唱えは上手く
ならないし、お話はすぐ忘れま
す。

どうにもならないけれども、
その日の帰り道は心の中が洗わ
れたようなさわやかな気持ち
で帰ることが出来ます。
毎年秋に県の奉詠大会があり、
課題曲を一年間練習してその
成果を全員登壇して発表するの
も励みになっていきます。



昨年十一月、義母を
送りました。六年間ベッ
ド生活でしたが、毎朝仏壇の前
で手を合わせるのが日課でした。
その信仰のおかげでしょうか、
安らかな最後でした。

『昨日の人は今日はなく
会えば別るる世のなら
夜半のあらしに散る花の
もろきは人の命なり』
無常御和讃の歌詞です。

仏様の前にすわり、この無常
御和讃をお唱えすると自然に涙
がこぼれます。

今までは習っても覚えるのが
精一杯でそれほど感じません
でしたが、義母をなくして「本
当に仏様の供養になる曲だ」と思
うようになりました。

合掌

仏教豆知識

質問

一の次は二となるの
が普通ですが、何故一周忌の翌
年が三回忌となるのでしょうか。
答
仏教は年齢を数え年で数えて
いきます。

一般的には満年齢で、オギャー
と生まれ出たときが〇歳です。
ところが仏教では、生まれ出
る前から約十ヶ月間お母さん
のお腹の中にいるのだから、そ
の時(生命誕生)が〇歳で、生
れ出た時は一歳と考えます。

でも死ぬ時はそんな数え年の条
件はありません。

一周忌と回忌は共に巡るとい
意味で同じ筈です。(グランド
一周走るも一回走るも同じ)

そうすると生命が亡くなった
年が〇基点で〇回忌・〇回忌
(〇歳)ですから、次の年が一
周忌になるのは当然です。

しかし、ご質問のように現在
の三回忌は、亡くなった年を〇
回忌ではなく、何故か一回忌と
とらえています。つまり、一周
忌の次に突然、二回忌ではなく、
三回忌という数え方をしている
のです。今の三回忌は普通に考
えれば絶対二回忌ですよ。

多分、四十九日忌を人から仏
になる特別の回忌として一回忌
と数えたのかもしれない。

